

会 議 録

会議の名称		令和元年度第1回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		令和元年5月16日（木） 開会：午後2時　閉会：午後3時15分		
開催場所		市役所　議会棟2階　全員協議会室		
事務局(担当課)		都市整備部　都市計画課		
出席者	委　員	鈴木（榮）会長，田尻委員，寺田委員，佐々木委員，渡辺委員， 青木委員，山下委員，久保田委員，多田委員，武藤委員， 片山委員（代理：渡部氏），渡邊委員，古谷委員 以上　13名		
	市職員	高橋都市計画課長，坂本課長補佐，中村係長，野元主事 小山技師 以上　5名		
公開・非公開 の状況		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	4名
公開不可の場合 はその理由				
会議次第		1　開会 2　会長あいさつ 3　新委員の紹介 4　議事 （1）協議事項 議案第1号　平成30年度事業実績及び収支決算について 議案第2号　令和元年度事業計画（案）及び収支予算について 議案第3号　モコバス無料デーの実施について （2）報告事項 報告第1号　モコバスの利用状況について 報告第2号　モコバス無料デーの実施結果について 報告第3号　高齢者運転免許自主返納事業実績報告について 報告第4号　守谷市デマンド乗合交通利用状況について 報告第5号　もりや交通ブックについて 報告第6号　互助による輸送について（情報提供） 報告第7号　つくばみらい市コミュニティバスの守谷市内 乗入について 5　その他 6　閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和元年6月6日		会　長　鈴　木　　榮		

審 議 経 過

1 開会

2 会長あいさつ

3 新委員の紹介

4 議事

(1) 協議事項

●議案第1号 平成30年度事業実績及び収支決算について

【事務局から説明】

○意見・質問等

佐々木委員：委員長からお話があったが、予算決算を審議事項にするのか、報告事項にするのか疑問は残るが、継続審議していただきたい。歳入、歳出の補正額について伺いたい。状況の変化に伴って当然補正は起こりうるということは分かる。この委員会で議論したことも事実。この中で免許の自主返納、モコバス運行経費の増分については、当初から状況の変化に伴ったものとは言えない。これを補正に回さなくてはならないということは、元々の予算が甘かったということになるのかと思う。当初予算と補正予算の違いについて、事務局に説明願いたい。

事務局：自主返納と運行経費だが、前年度の実績をベースに当初予算を掲げており、令和元年度についても同様にしているが、ここ数年、年々増加している傾向があり、大目に見てはいたが、それを上回るペースであった。

また、今年度についても、ゴールデンウィークの事故の報道等で、予想以上に返納者が増加する可能性があり、補正の審議をお願いすることもある。この辺りをご理解いただきたい。

佐々木委員：それについては、分かりましたと言わざるを得ない。ただし、税金から出ているものなので、甘かったと言われたいような使い方をして欲しい。

もう一点、不用額と差引残高とあるが、使わなかったのであれば、全額不用額として返してもよいのではないかと。繰越残高を持っている必要性はないのではないかと。

事務局：61万円の残高については、令和元年度の予算との歳入歳出を見込んで設定させていただいた。

古谷委員：事務局としても、決算で不用額をなるべくゼロにし、負担金を減らしたいという狙いがあったが、この予算決算を作成したときには、今年度の支出が確定していなかった。そのため、想定外の支出の増加に備え、残高を多めに残した。今後はこのようなことがないよう、

対応させていただく。

【採決の結果，全員賛成により承認】

●議案第2号 令和元年度事業計画案及び収支予算案について

【事務局から説明】

○意見・質問等

佐々木委員：予算の増減というのは，確かに大事な事項であることだが，それよりも予算を使ってどういう成果を上げていくかということが大切である。予算が減ったからよかったということではなく，公共交通が市民にとって有益で，便利な形で運用できるようなものを是非作って欲しい。

そのための予算であるが，事業費として見ると2万円。これは，モコバスとデマンド乗合交通の事業を何もやらないと言っているのと同じではないか。公共交通には事業費をもっとかけて，我々が期待しているものを作っていただきたい。例えば，今年度デマンド乗合交通で収入を見込んでいるが，その収入を全部そこに投入してもよいのではないか。事業費について是非検討していただきたい。

また，予算決算の議決事項か報告事項かという審議について，今年の事業計画の中に入れていただきたい。

事務局：事業費の予算額，事業内容について，検討させていただき，次回協議させていただく。

古谷委員：先ほど佐々木委員がおっしゃった部分を再編に係る経費というところでカバーしていきたいと考えていたが，あくまで事業費は，促進事業ということで捉えてしまったのが悪い原因かと思う。1箇月しかデータは出ていないが，今後蓄積された結果で，どのような再編をしていくかというようなものにかけていきたいと思う。今の公共交通が完璧なものではないので，これから市民の方により良い公共交通ということでもっと使っていただくような努力をしていきたい。通常こういったものを事業費の中で組み込まないといけないのかもしれない。再考させていただく。

また，予算決算に係る事項だが，事業計画の中には入れず，間違いなく今年度中には解決をしていきたい。

田尻委員：デマンド乗合交通の費用には，予約センターの人件費等が入っているのか。また，デマンド乗合交通の収入が予算には記載されているが，モコバスの収入はどこに計上されているのか。

事務局：デマンド乗合交通経費の内訳だが，タクシー会社への委託料，予約センターのオペレーターへの費用，システム使用料，回線料ということで，この中に入っている。

また，モコバスの収入は，経費から収入を差し引いた形の金額であるため，予算には計上されていない。

田尻委員：3,500万円というのは，収入を差し引いたものであるのか。

古谷委員：デマンド乗合交通は、あくまでも守谷市地域公共交通活性化協議会が運営し、収入をいただく形になっているが、モコバスは、関東鉄道様に委託し、収支を精算した中での運行経費という扱いになっている。

鈴木会長：再編に係る経費が若干運用できるということ。

青木委員：後で説明があるのか分からないが、デマンド乗合交通の利用者が1日48人ということで計算されているが、資料No.7-1での実績を見ると4月平均は22人程度である。48人というのは、今後この程度利用者が出てくるだろうと見込んでいるものなのか。

古谷委員：こちらの48人は、1時間に1台に2人乗るという計算で、計上している。低い値で見ってしまうと今後の利用について、促進しないとも捉えられてしまうので、少なくとも1時間に2人乗ってもらえるよう、利用促進を図りながら、目標としていく人数設定ということで設定させていただいている。

青木委員：数字的には分かった。ただ、先ほども話題に出たが、利用促進費に2万円というのは少ないのではないか。

古谷委員：再編に係る経費ということで見ていたが、事業費に組み替えた形でやっていこうと考えている。

渡辺委員：事業計画で質問したいが、公共交通の実証実験として、データというのは、今後どのように取りながら蓄積していくのか、それをどう反映するのか。始まったばかりだと思うが、今現在どう考えているのか。

古谷委員：後で報告事項にあるが、地区別、年齢別、行先別のように、様々な角度からデータを取り、どこをPRしていった方がよいか、どういう施策が必要か等の課題が見えてくると思うので、それで対応していきたい。

鈴木会長：それでは第2号議案はよろしいですか。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第3号 モコバス無料デーの実施について

【事務局から説明】

○意見・質問等

鈴木会長：もう一つ大きい祭があったと思うが。

事務局：補足させていただく。既に終了してしまっているが、毎年5月にモコフェスタというものもあり、今年度は、見送らせていただいたが、次年度においては、こちらの開催にも実施できるよう検討していく。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●報告第1号

【事務局から説明】

○意見・質問等

鈴木会長：まだ始まったばかりだが、みずき野の方が少ないように見える。

古谷委員：停留所別というのも出ている。みずき野・松並青葉ルートでは、松並青葉のヨークベニマルのところからの利用が多い。次点で郵便局のところ。買い物での利用や、郵便局への利用が多くなっている。板戸井・市役所ルートは、イオンタウンでの乗降は多い。守谷高校や緑工業団地内のバス停は利用が多い。このようなデータを蓄積し、モコバスについても、今後見直しが必要かどうか見極めて検討していきたい。

渡辺委員：板戸井・市役所ルートで、朝、西板戸井地区を回るのは、小学生を乗せるためだと聞いていたが、帰りの便がないというのはどういうことなのか。

古谷委員：前にもご説明させていただいたが、この再編に当たっては、昨年10月くらいから検討していた。6時間授業に合わせていたところがこの再編のベースであったが、教育改革があり、4時間、5時間の授業日が増えた。帰りは、6時間授業に合わせた1便しかないのも、西板戸井の子ども会等から色々な要望が出ているのが現状である。こういった課題の解消のために、PTA等と協議している。

渡辺委員：子どもたちは帰りどうやって帰っているのか。

古谷委員：放課後子ども教室、児童クラブの利用や、高学年では早く帰りたい児童については、先生方に協力いただき、一緒に下校しているということがある。先生方への負担もあり、この状況を続けるということは難しいので、色々な改善手法を検討したい。通学路については、高梨市議会議員、PTA、竜ヶ崎工事事務所とともに、現地確認し、危険箇所について把握し、修繕に向けての対策について検討を進めている。はやく帰りたいという児童については、徒歩で下校している。

渡辺委員：対象者は、全部で何人くらいいるのか。

古谷委員：16名である。

寺田委員：私が把握しているところでは17名である。低学年が6名、高学年が11名。4時間授業の下校時間の目安は2時、週に1回、火曜日だけ問題がある。ありがたいことに、学校の先生が西板戸井の端まで一緒に下校してくれたが、いつまでも続くとは考えられない。父母会、PTA等に話はしているが、火曜日については、実際2名の子どもが困っている。放課後子ども教室も提案したが、費用がかかるので断られた。市全体で見ると西板戸井地区の子どもたちだけというのも難しいと思うが、私に届いた要望等については、古谷部長にもお話をいただいている。現状としては、子ども会、PTA、教育委員会等、巻き込んで検討していって欲しい。道路の危険箇所については、古谷部長の説明のとおりだが、主に危険なのは3箇所ある。以上情報提供させていただいた。

●報告第2号～5号

【事務局から説明】

○意見・質問等
特になし

●報告第6号

【事務局から説明】

○意見・質問等

田 尻 委 員：高野地区では、協議会を発足させ、今の時間も第2回の協議を行っている。これを始めるに当たって、各28町内会の区長、役員、各団体の代表者、民生委員、その他等、約360名に協力いただきアンケート調査を行った。その中で1番多かったのは、住民同士が助け合い、支え合う活動ということであった。その助け合いの活動の中で、高野地区は、全面的にモコバスが廃止となることから、「互助による輸送」を考えてほしいということで83%の方から要望があった。そういった経緯でプロジェクトチームを立ち上げ、市と協力しながら実現に向けてやっていきたい。その中で問題としてあるのが、車両の確保もあるが、1番はドライバーの確保である。ボランティアだけで本当に可能なのかということも含めて検討している段階である。

古 谷 委 員：市としても、応援できるものは応援し、勉強になる材料があれば、共に勉強するという形で実現に向けて協力していきたい。
また、運転手の確保は大きな問題だと思うので、有償運送等の可能性等も交えながら、ご協議できればと思っている。

寺 田 委 員：これは、市からの補助金等は考えているのか。

古 谷 委 員：既にみずき野地区で類似の運行を行っており、一部は介護福祉課から補助している。先行的なモデル地区として動いているところもあり、地域の状況を鑑みて、最終的には、市としてどこまで支援できるのかということの体制を整えていきたい。

鈴 木 会 長：私の地区である北守谷地区においても、高野地区を見ながら、早急に進めていきたいと思っている。

●報告第7号

【事務局から説明】

○意見・質問等

古 谷 委 員：こちらについては、つくばみらい市の公共交通会議で議決されている。小絹ルートで守谷市内に3箇所程度、もう1つのルートでは、赤法花方面に2箇所していただける。総合守谷第一病院行きのルートについては、新たに新守谷地区にバス停を追加していただけるか協議していただく予定となっている。

田 尻 委 員：このバスは守谷市民も利用できるのか。値段はいくらか。

古 谷 委 員：２００円で利用できる。

５ その他

●守谷市デマンド乗合交通の利用対象者の拡充について

【事務局から説明】

○意見・質問等

寺 田 委 員：障がい者を年齢制限なく利用できるようにしていただければありがたい。妊婦についても考えてもらえないかという意見を地域からいただいたが、妊婦についてはどう考えているか。

古 谷 部 長：デマンド乗合交通は登録制であるため、妊婦期間の期間のみ登録し、後で解除していただくという手続きが必要になる。申請時が６００人程度か。今すぐという訳にもいかないので、保健福祉部とも協議しながら検討を行い、まずは、障がい者の利用を重点的に考えさせていただきたい。その後、段階的にということで検討させていただく。

●高齢者運転免許自主返納支援事業の要綱の改正について

【事務局から説明】

○意見・質問等

特になし

６ 閉会